



かおり

vol.
62
May
2020



撮影者／奥山れいな

理念

私たちは地域の皆様の幸福(しあわせ)に貢献できる社会福祉法人を目指します。

品質方針

顧客満足から顧客感動へ「やさしさ」「真心」「思いやり」で満ち溢れた**心のかおり**のするサービスを目指します。

今回の内容

質の高いサービスは、質の高い人材が支える 松美会ではたらく職員を徹底解剖！	02・03
ミニ福祉情報 保育・介護分野における 有料職業事業について	04
各拠点からのお知らせ	
さこ拠点 (彦島追町)	04
たのくび拠点 (彦島田の首町)・しおはま拠点 (彦島塩浜町)	05
ゆめタウン拠点 (長府ゆめタウン)・しおかぜ拠点 (彦島追町)	06
松美会の人財 私たちが働いています！	07
免疫力アップが期待される食事のポイント	08

私たちが提供するサービスの質は、それが良いものなのかどうか人からは見えづらく、伝わりづらいものです。

松美会では、お客様にサービスの質を保証するしくみとして、国際標準規格である品質マネジメントシステムISO9001の認証を取得し、サービスを提供するまでの過程（プロセス）をしっかり管理し、提供するサービスの品質保証に努めています。また、職員にとって働きやすい職場をつくること、お客様への“良いサービス”“安心のサービス”提供に繋がると信じ職場環

境の整備に力を入れています。さらには、職員一人ひとりが自己研鑽し、スキルアップしていけるように、法人としてもそれをバックアップしてきました。

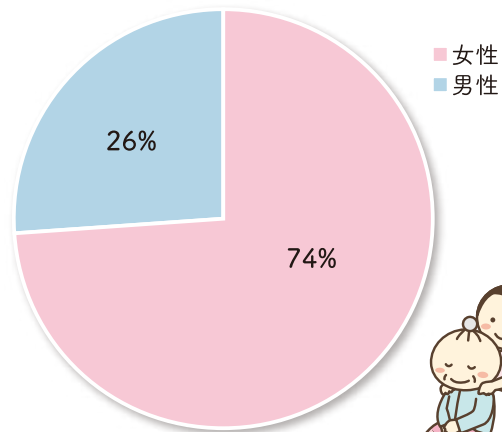
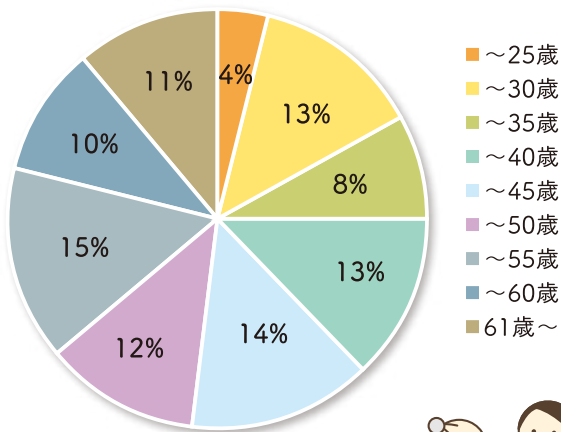
「目に見えづらいサービスだからこそ、少しでも見えるようにしたい」サービスを提供するにあたって私たちが常日頃から大切にしていることです。今回は、松美会で働く職員をいろいろな視点からご紹介します。

（全てのデータは、令和2年4月1日現在のものです）

年齢構成と男女比率

様々な考え方や経験を持った人が在籍していることは、事業活動を活性化させると考えています。私たちは、各サービスの職場内だけではなく、法人規模で研修会や親睦

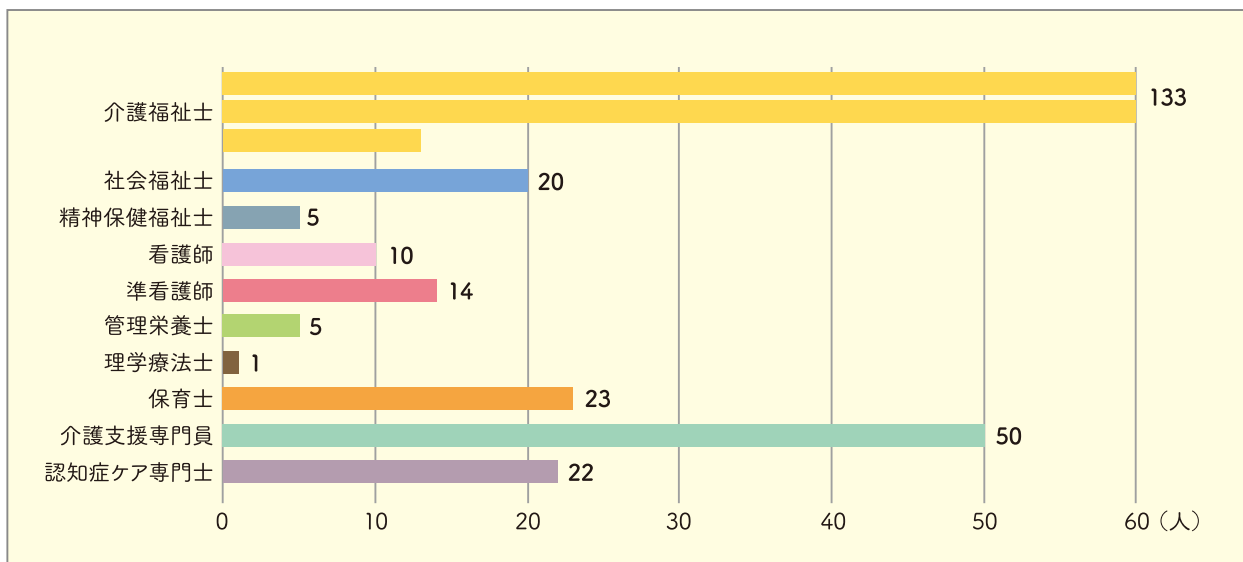
会、職員旅行などの機会による世代間交流を深め、世代に偏りなく、様々な世代の職員が意見を言い、交流し合える環境づくりを行っています。



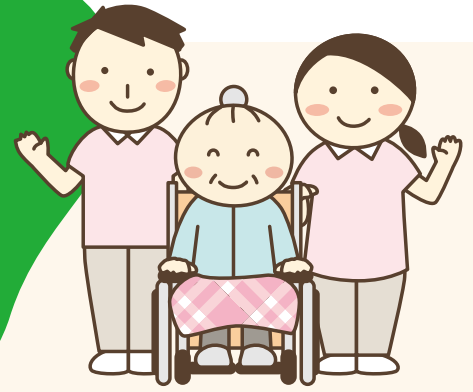
主な資格の取得者数

資格は、プロフェッショナルであることを証明することに繋がります。取得がゴールではなく常に研鑽を積み、新しい知識技術を得ることが良いサービスに繋がると思います。

私たちは、資格取得費や一部更新費用、各資格団体（介護福祉士会や介護支援専門員協議会など）への登録、研修等に参加しやすい組織風土づくりに努めています。



質の高いサービスは、質の高い人材が支える 松美会ではたらく 職員を徹底解剖！

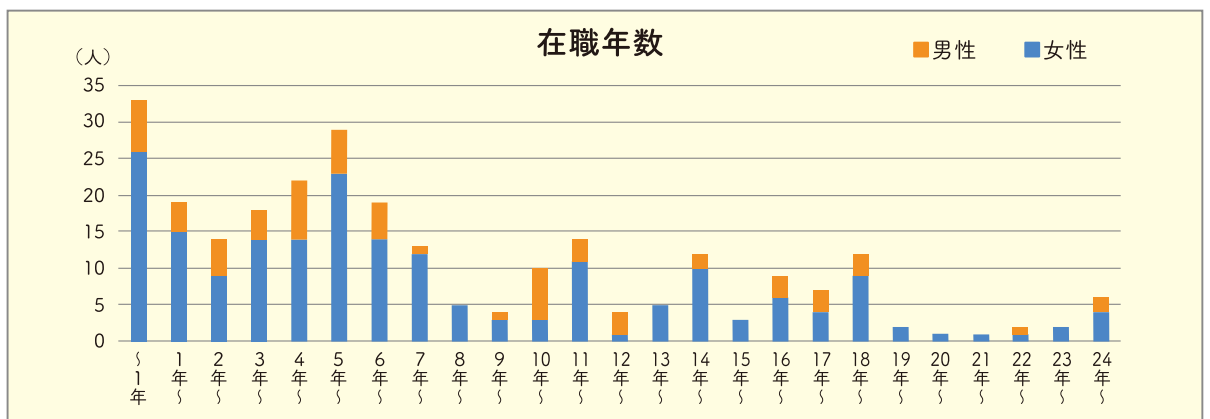
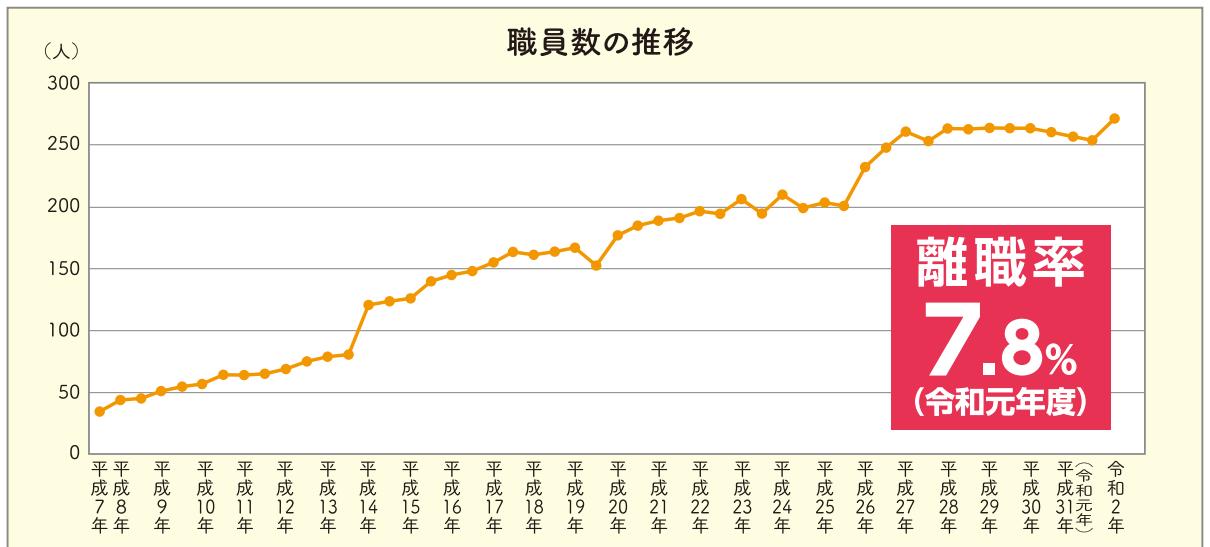


職員数と在職年数

介護においても保育においても職員の確保が難しいことが社会問題となっています。私たちにしても働き手の確保は重要な課題ではありますが、今のところ事業規模を拡大するにつれ働く職員も滞りなく増えています。また、私たちは、『職員の数の確保』だけではなく、平成18年より職員仕事満足度調査の結果をもとに職場環境を継続的に改善することにより、職員が長く働き続けることができる働きやすい職場づくりを推進し、『安定したサービスの質を確保』

する努力を行っています。厚生労働省の「平成30年雇用動向調査」によると、2018年の1年間における全産業での離職率は14.6%であるのに対し、当法人の令和元年度の離職率は7.8%であることから考えると、働きやすい職場づくりの推進の成果が出ていると考えています。

(ちなみに介護労働安定センターの2018年度「介護労働実態調査」によると、介護職員の離職率は15.4%となっています。)



各拠点からのお知らせ

さこ

拠点
(彦島迫町)

終の棲家としての使命

特別養護老人ホームは必要な介護を受けながら、その人らしく長く生活をする施設です。病院とは違い積極的に治療する場では無く、老人保健施設とも違いリハビリをして在宅復帰を目指す施設でもありません。生活をされている方の平均年齢は86.95歳(*1)と、ご高齢の方も多く、特別養護老人ホームを終の棲家とされる方も少なくありません。年間30名程度の方が施設を退所されますが、その内の9割の方が施設で最期を迎えられます。その為、医療設備の整った病院でもない私たちの施設で最期を迎える選択をされた皆様方が、安心して最期を迎えることができるよう学びを深めています。看取りをさせて頂いた後は、職員、ご家族様双方から看取り介護の振り返りアンケートを取っているのですが、そのアンケート結果を、看取り介護に対する知識や技術、私たちの心構えなどより高めることに繋がっています。また、寄り添うご家族様のお気持ちに立ち、ベストの関りができるよう「関わり・声掛けのロールプレイング」勉強会なども行っています。ご本人様、ご家族様に“アイユウの苑を終の棲家を選んでよかった”と思って頂けるような看取り介護を、また、“その人らしい看取り”を職員一同これからも追及していきたいと思えます。

※1 令和2年5月1日現在

特別養護老人ホーム
アイユウの苑
介護主任 権堂由佳



福祉情報

保育・介護分野における 有料職業事業について 人材紹介料に5,600万円も・・・

人手不足が深刻な保育や介護などの事業者が、人材紹介業者に払う手数料負担の高騰に苦しんでいる実態がある。手数料目当てで早期退職を繰り返す悪質な例もあるが、政府も対策を打ち出さしていない。

政府は実態調査を行い、令和元年12月に初の調査結果を公表した。医療分野では看護師・准看護師の78.7%、介護分野では介護職員の41.5%が紹介業者を利用。手数料の平均は看護師・准看護師が91.8万円、介護職員が50.1万円。高い手数料を支払って採用しても半年以内に4割の介護職が離職しているなど、早期退職に悩む実態も明らかとなった。

とくに都市部における福祉人材の確保は困難を極めており、東京都社会福祉協議会の調査においても、人材紹介業者を利用する法人の内87%が「募集しても応募がない」ことを利用する理由として挙げており、法人全体で支払った紹介料について高齢者分野が平均で495万円、最高額は5,600万円であったという。

当法人においては、ありがたいことにすべてのサービス事業所において、職員はほぼ充足しており、公共職業安定所からの紹介等で人材確保ができていく状況である。

人材紹介会社から「紹介したい看護師さんがいるのですが」「仕事を探されている介護福祉士さんがいるのですが」という電話が数多くあるが、丁寧に断りをさせていただいている。そもそも、介護の仕事は売り手市場であり、数多くの求人があり、就職希望者が選べる状況のなかで、なぜ人材紹介会社に登録するのか理解に苦しむ。それだけで怪しい。

私たちの財源は、給付費としての公費や介護報酬としての保険料と公費であり、利用者のため、職員の処遇改善のために使うものが人材紹介会社への手数料負担に使っていいのかという疑問もある。

令和2年1月15日から医療・介護・保育分野において、職業安定法及び職業安定法に基づく指針を遵守していく職業紹介事業者を見える化する取組として「医療・介護・保育分野定期郷紹介事業者宣言」が創設された。怪しい人材紹介会社が淘汰されることにつながればと思う。

当法人においては「職員一人ひとりを大切にする」ことを掲げており、職員みなさんにこのことを実感していただけるような具体的な取り組みが必要であると感じている。新たな職員を確保することよりも、今いる職員さんに気持ちよく、より長く仕事していただくことが重要であり、この環境こそが新たな職員の確保につながるとともに、職員さんが新たな職員さんと呼んでくれることにもなるのではないかと考えている。そのような理想の職場づくりを進めていきたいと強く思う。



法人事務局
事務局長 辻中浩司

各拠点からの
お知らせ

たのくび

拠点
(彦島田の首町)



他人のために 一手間を惜しまない

『3,835件』。この数字はグループホーム職員が情報共有のために記し、勤務前後に必ず目を通すルールになっている“連絡帳”の今年度の4月から2月末までの約一年間の記帳件数です。ちなみに昨年度一年間は『4,061件』、一昨年度は『4,000件』でした。『業務に関すること』『ご利用者様に関すること』『ご利用者様のご家族様と職員とのやりとり』『医師などの医療関係者とのやりとり』など多様な内容が記されています。グループホームの職員は時間帯をずらした交代勤務となっており、全職員がそろっての朝礼や終礼をする機会はありません。ご利用者様へのより良いサービス提供に取り組むとするとこのくらいの情報量は必要です。

『より良いサービス提供には多くの情報とその共有が欠かせない』ということは間違いのない事実です。そしてそれは別の視点からみると、職員が『一手間を惜しまずに情報を共有するために職員が考え、行動している』ということもものがたっています。この連絡帳への記帳件数は「このことを伝えておかないと、次の人が困るかもしれない」「あのことも

伝えておいた方が次の人が仕事をしやすいかもしれない」「このことは共通理解しておかないと、トラブルになるかもしれない」などといった考えや気持ちの表れと言えるでしょう。わざわざ文章で残すのは伝言ゲームでは伝わる事実が変わってしまうことが避けられないからです。文章なら受け取り方の違いは個々にあるにせよ、ズレは少なくなります。しかしその分手間がかかるということもまた事実です。

アイユウの苑グループホームの職員は、自分の後に仕事をする職員が働きやすいように考え、“一手間を惜しまずに”行動できる職員です。

グループホーム
管理者 江藤文彦



各拠点からの
お知らせ

しおはま

拠点
(彦島塩浜町)



地域の方の憩いの場、 元気で過ごせる健康体操教室

アイユウの苑しおはまでは気軽に足を運びやすい施設環境作りとして会議室、ロビーの提供や活用を行っております。その中でも地域の方の憩いの場、コミュニティーの場として3年前より健康体操教室を始めました。塩浜地区の特色として、近隣の方とのつながりが深く、みんなで支えあい、健康意識が高い元気な印象を受けます。その地域の皆様が笑顔でいつまでもお元気でいられるように、しおはま拠点では地域の方が参加できる健康体操教室を月2回、金曜日に開催しております。最初は約20～25名の参加でしたが、彦島外からも利用があり、現在約40名の方が体操に参加されております。体操は『椅子に座って誰でもできる体操』をテーマ

に行っております。体操が終わると「体が軽くなった」「帰る時の坂道は足取りが軽いです」とお声をいただいたり、介護相談や健康相談も増え、大きなやりがいを感じております。健康体操教室をご利用されている方の中では顔なじみができ、一緒に施設内での催しにも参加されております。おかげさまで、アイユウの苑しおはまは地域の方が多く足を運んでいただける活気ある拠点だと感じております。これからも地域の皆様の憩いの場として健康体操教室を開催していきたいと思っております。

地域密着型介護老人福祉施設
アイユウの苑しおはま
機能訓練指導員 和田 祐介



各拠点からの
お知らせ

ゆめ タウン

拠点
(長府ゆめタウン)

チーム力の向上を目指して

ご利用者様に提供するケア内容は、その方の状態や要望、性格等によって様々です。私たち福祉従事者は、ご利用者様の情報を職種間で共有しながら、求められるニーズに真摯に向き合い、適切に対応するために職員間で意見交換を行う場を設けています。

具体的な場面としては、毎月行っているユニット会議が挙げられます。会議では、毎月フロアの職員が集まって業務内容の見直しやケア内容に変更が必要な方について対応方法を検討しています。例えば、食事摂取量が少なくなっている方への対応として食事形態の変更や栄養補助食品の検討、食事介助の必要性や行うタイミング等、職員間でしっかりと共有したい事項について意見を出し合い、今後の対応を決めています。

また、会議の時間を使って勉強会を行うこともあります。勉強会の議題は、介護技術、接遇対応、高齢者虐待や身体拘束等があり、職員が資料の作成・講師を行いな

がら互いに学び合う場を設けています。日々の業務の中では得ることのできない意識的な課題も含め、新しい考え方や技術を勉強する時間はとても貴重です。

これからも意見交換や学びの時間を継続的に設けることで、職員の連携力・コミュニケーション能力を高め、チームとして充実したケアを提供できるよう努めていきたいと思えます。そして、全てのご利用者様が安心できる環境を目指します。

地域密着型介護老人福祉施設
アイユウの苑ゆめタウン
生活相談員 河崎 亮



様々な行事を通して...

しおかぜの里こども園で行われる冬の行事について紹介します。

12月に行われたクリスマス会。サンタさんに質問をしたり、プレゼントをもらったりしました。ステージの上にあるたくさんのプレゼントを見て目をキラキラ輝かせている子ども達。「わー!すごい」「早く遊びたい!」など大興奮でした。

2月には節分を行いました。鬼が怖く泣いてしまう子どもがほとんどですが、それでも一生懸命豆をなげる姿にたくましさを感じました。豆まきが終わったあとは、お菓子まきを楽しみ、「こんなに拾ったよ!」と嬉しそうに教えてくれました。

3月には年長さんとのお別れ会を行いました。プレゼント交換を行ったり、保育教諭の出し物をしたりしました。年長さんとのお別れが寂しく、涙を流す子どももいました。私たち、保育教諭も大きく成長した子ども達を見て、嬉しさ

を感じたのと同時に、卒園する寂しさを感じました。

たくさんの行事を通して、その由来や伝統などを学んでいます。これからも子ども達と一緒に楽しみながら行っていきたいと思えます。

しおかぜの里こども園
保育教諭 穴田 奈緒美

各拠点からの
お知らせ

しおかぜ

拠点
(彦島迫町)



栄養管理・食事サービス部
管理栄養士 松宮志真
平成7年度入職 管理栄養士

はるか昔の話ではありますが、高校3年生の時、担任の先生から今後の進路予定を聞かれ、迷わずツアーコンダクターになって海外を飛び回りたいと答えました。当時は海外旅行もまだ珍しい時代。夢ではなく現実を考えよう。と言われたことを覚えています。旅行の次に私が興味を持っていたことは食べることと料理でした。先生の応援もあり管理栄養士過程のある大学へ進学。福岡近郊の総合病院に就職が決まり、昭和59年4月、私の管理栄養士としての仕事がスタートしました。1日千食以上の患者様の調理に献立作成、栄養相談等、目まぐるしい7年間の病院勤務の後、縁あってアイユウの苑に勤務しております。開設当初は毎日が課題と格闘の日々。大変ながらもご利用者様からの「美味しかったよ。」「いつもありがとう。」「気をつけてお帰りなさいね。」等のやさしい言葉に励まされたものです。あれから25年、今も変わらずご利用者様からの「美味しかったよ。」の言葉と笑顔に感謝の日々です。「初心忘るべからず」謙虚



さを忘れずに、これからもご利用者様の笑顔のために、美味しさと、食べることへの楽しみをお届けできるよう、努めてまいります。



アイユウの苑ケアマネジメントセンター
ケアマネジャー 永住充至
平成28年度入職 介護支援専門員

何か人の役に立つ仕事がしたいと始めた介護職。介護の資格を取得し有床診療所の介護職を10年、介護施設の生活相談員を2年経験した頃、施設生活の一部としての関わりではなく、自宅で暮らすご利用者様やご家族様とずっと深く様々な場面から関わりたいと考えるようになりました。そんな中、当法人の事務局長よりご縁を頂き介護支援専門員の仕事に就いています。

主役はご利用者様とご家族様。どのように過ごしたいかは人それぞれなので、介護で困っている方のご自宅を訪問し、お話を伺う時はなるべく自分の価値観にとらわれないよう心掛けています。この仕事の魅力は、人生の先輩との関わりから多くのことを学び、出逢いそのものが私の財産になっていること。大きな責任のある仕事ですが、当事業所には頼りになる管理者をはじめ、一緒に悩み、知恵を出し合ってくれる心強い仲間がいます。これからも感謝の気持ちを忘れず、人との繋がりを大切にできる職員でありたいと思います。



松美会の人財

私たちが働いています!

今回のテーマは...

なぜこの仕事をするのか、どんな職員でありたいのか。



小規模多機能型居宅介護
アイユウの苑おほま
看護職員 齋勝知幸
令和元年度入職 准看護師

私がこの仕事に就くきっかけとなったことは幼い頃より祖父母と暮らしており、福祉や医療の仕事に興味があったからです。特にそのような想いが強くなり始めた時期は高校2年生の時、祖父が倒れ病院に入院した際に働いていた男性の看護師を見た時でした。祖父は気難しい性格だったため、家族以外はほとんど自分から話しかけたり、笑顔になったりすることはありませんでしたが、その男性の看護師だけは、時折笑顔を見せていました。その姿を見て私もこのように看護師になりたいと思うようになりました。

その後、総合病院で働いた後、アイユウの苑おほまで勤務をしています。その中で病院と施設との違いを感じ、日々学ばせていただいております。

私はこれから看護の仕事をしていく中でご利用者様だけでなく、ご家族様の声を傾聴し一緒に寄り添えることの出来る存在であると共にあの頃出逢った看護師の様に皆を笑顔にし、頼られ、それに応えられる看護職員として日々頑張っていきたいと思っております。



アイユウの苑
ゆめタウンショートステイ
介護職員 二田美由紀
平成17年度入職 介護福祉士

私が、この仕事に就くことになったのは、年老いていく母親のために、介護の知識があれば、何かあった時に役に立つのではと思ひ、市報に載っていたヘルパー2級の養成講座を受講し、ヘルパー2級を取得しました。

その後、介護の仕事を始め、何年か経った時に、母親が急に状態が悪くなるがありました。救急車の手配からその間に母親の状態を見ながら対応していたことに、この仕事に携わっていて良かったと実感しています。対応が早かったこともあり、母親は麻痺等なく介護は必要な状態となりましたが、今でも元気に過ごしています。

介護の仕事始めて今年で15年が経過しています。その間、大変なこともたくさんありましたが、一緒に働いている人達と悩みを共有し、励まし合うことで頑張れることが多々ありました。

私は、「あなたがいてよかった」と言ってもらえるように、これからも日々努力していきたいと思っております。



免疫力アップが期待される食事のポイント

世界中で現在、感染拡大している新型コロナウイルス。感染症にかからない身体づくりとして、免疫力アップが期待される食品や、食事のポイントをご紹介します。

免疫力アップ



栄養管理・食事サービス部
中井 由佳梨

ヨーグルト

免疫細胞の多くは腸内に存在しています。腸内環境を整えることは免疫力アップにつながります。ヨーグルトに含まれる「乳酸菌」や「ビフィズス菌」が腸内環境改善に効果的です。効果を持続させるためには毎日食べ続けることが大切です。



長芋

ヌメリに含まれるムチンは免疫力を高め、疲労回復効果があります。熱に弱く、擦ることで栄養素が失われてしまうため、新鮮なものを生で食べるのがオススメです。



納豆

免疫力向上を手助けしてくれるビタミンB群をはじめ、ミネラルが豊富に含まれています。納豆菌には殺菌力があります。



りんご

抗酸化成分のリンゴポリフェノールは、免疫細胞を活性化させてくれます。ペクチンも豊富に含まれるため皮付きのりんごを食べると良いです。すりおろしてヨーグルトに混ぜるのも美味しいです。



味噌

「発酵食品の王様」。体内の酸化防止や殺菌効果、消化を助ける整腸効果もあります。お野菜たっぷりの味噌汁もおススメです。



緑黄色野菜

皮膚や粘膜を丈夫にし、免疫力を高める効果があるβカロテンが豊富。体内で発生する活性酸素を除去し、細菌やウイルスから身体を守ります。油と一緒に摂ると吸収率が高まります。ビタミンCやビタミンEと一緒に摂ると抗酸化力が高まるので、複数の野菜や果物を組み合わせて摂取しましょう。



はちみつ

疲労回復に効くブドウ糖が主成分。腸内で善玉菌を増やし、腸内環境を改善します。消化機能を助け、免疫力を高めます。ぜひヨーグルトと一緒に食べましょう。



免疫力を高めるためには、1つの食材や栄養素に偏ることなく、多くの種類の食材をバランス良く摂ることが大切です。また、食事だけでなく、適度な運動や十分な睡眠、ストレスを溜めないことも大切です。



社会福祉法人 松美会

URL: <http://www.shoubikai.or.jp>
E-mail: fukushi@shoubikai.or.jp

◎アイユウの苑 迫(さこ)

〒750-0092 下関市彦島迫町三丁目17番2号

- 特別養護老人ホーム アイユウの苑(ショートステイ)
- アイユウの苑 デイサービスセンター
- アイユウの苑 サテライトデイサービスセンター六連島
- アイユウの苑 ホームヘルプサービス
- アイユウの苑 訪問入浴サービス
- アイユウの苑 訪問看護サービス
- アイユウの苑 ケアマネジメントセンター

Tel. 083-266-8287
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-1372
Tel. 083-266-6364
Tel. 083-261-4337
Tel. 083-266-6501

◎アイユウの苑 田の首(たのくび)

〒750-0085 下関市彦島田の首町一丁目1番32号

- アイユウの苑 グループホーム
- アイユウの苑 デイサービスセンターしおはま

Tel. 083-266-5361
Tel. 083-266-5362

◎アイユウの苑 塩浜(しおはま)

〒750-0086 下関市彦島塩浜町三丁目14番47号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑しおはま
- 小規模多機能型居宅介護 アイユウの苑しおはま
- 住宅型有料老人ホーム アイユウの苑しおはま

Tel. 083-267-8800
Tel. 083-267-2525
Tel. 083-267-2525

◎アイユウの苑 ゆめタウン

〒752-0926 下関市長府ゆめタウン2番24号

- 地域密着型介護老人福祉施設 アイユウの苑ゆめタウン
- アイユウの苑ゆめタウン ショートステイ

Tel. 083-249-2200
Tel. 083-249-2200

◎しおかぜの里

〒750-0092 下関市彦島迫町六丁目7番22号

- しおかぜの里こども園

Tel. 083-267-1917



社会福祉法人 松美会 アイユウの苑は「社会福祉法人」「特別養護老人ホーム」「在宅介護サービスの複合供給体」として、日本で初めて1999年10月に品質マネジメントシステムISO9001の認証(審査登録)取得を実現しました。その後も、システムの維持・継続的改善をしながら認証取得事業所の拡大を推進しています。

【ISO9001認証(審査登録)取得】